

49 地域コミュニティ活性化関連事業【拡充】

事業概要	内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、対面でのコミュニケーションの機会が減ったことで、地域コミュニティの希薄化が懸念されています。</p> <p>令和4年度は、区内でコミュニティ活動を行っている方を対象に、コミュニケーションツールの体験講習会を開催します。また、ツールの活用にあたっては、臨時ヘルプデスクの設置とともに、訪問支援や個別相談などのアフターフォロー体制も併せて整備します。さらに、地域においてコミュニティ活動を行っている団体（町会等）が、新たにスマートフォンやパソコン等ICT機器の活用環境を整備する費用について、計画書の策定を前提として、50万円を上限に（補助率：10/10）令和5年度まで時限的に助成します。</p> <p>これらの取組みを通じて、ハード・ソフトの両面からデジタルツールを活用した地域コミュニティの活性化を図ります。</p>		
	事業開始年度	(1) 平成26年度 (2) 平成17年度		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 地域コミュニティ醸成支援	29,224,000円	29,026,800円	99.3%
	(2) コミュニティ活動事業助成	21,700,000円	17,012,588円	78.4%
事業実績	<p>○令和4年度実績</p> <p>(1) 地域コミュニティ醸成支援事業</p> <p>①地域コミュニティ活動団体へのデジタル活用支援事業 デジタル活用体験講習会を開催し（計13回・58名参加）、訪問支援（計48回・227名参加）によりアフターフォロー等を行いました。また、ヘルプデスクを開設し、活動計画立案支援などを行いました。</p> <p>②マンション・コミュニティ・ゼミ（アーバニスト・ミーティング） マンション居住者等の区民が地域で交流し、コミュニティに参加するきっかけとなるイベントや講座の実施、区民による交流の場づくりの支援を対面・オンライン・両方（ハイブリッド）で開催しました（計6回・140名参加）。</p> <p>③交流会「ちよだコミュニティラボライブ！」 区内にある多くの活動団体が一堂に会し、区内のコミュニティについて意見交換を行う交流会を開催しました（計8回・136名参加）。</p> <p>(2) コミュニティ活動事業助成</p> <p>①デジタル環境整備費用の助成 地域でコミュニティ活動を企画・実践する29団体にデジタル環境整備のためのICT機器購入費用を助成しました。</p> <p>②ホームページやLINE等公式SNSの開設・情報発信等 12町会と3団体がホームページやSNSアカウントを新たに開設し、情報発信することにより町会の新規加入につながりました。また、6町会1団体でビデオカメラ機能やプロジェクターを活用したWeb会議、デジタル講習会を開催しました。</p>			
	<p>令和4年度の活動実績により、町会独自のホームページやYouTubeを開設するなど一定の効果が認められました。また、デジタル活用支援事業については、団体活動の周知にあたりICT機器の不足を感じている団体の現状が明らかになりました。反面、情報発信ツールの定期的な更新の必要性や、長期的視点での運用という事業主旨について、団体への周知・浸透が課題です。</p> <p>令和5年度は、引き続き地域団体へのICT機器購入の支援、デジタル講習会の開催とともに、訪問支援とヘルプデスク業務も行います。さらに、ビジネスチャットのLINE NETWORKSの導入により区と地域団体、地域団体同士の交流を支援します。</p> <p>令和6年度は、新しい住民を地域コミュニティに取り込むために、引き続きデジタル活用を含めた地域コミュニティの醸成を図っていきます。</p>			
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応 令和6年度予算への対応	<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿 ≪人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。≫</p>			
所管課	地域振興部	コミュニティ総務課	決算参考書	204頁 R4予算の概要 89頁

50 ジェンダー平等推進行動計画の推進【拡充】

事業概要	内容	<p>区は、令和4年度から5か年の計画である「第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画」に基づき、ジェンダー平等社会を実現するために様々な施策を推進していく必要があります。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に引き続き、地域の課題解決や活性化に向けた女性による意見交換の場として「ちよだをつなげる女性30人」を実施し、政策・意思決定過程における女性の参画の拡大と、女性がさらに活躍できる千代田区をめざします。</p>				
	事業開始年度	平成9年度				
事業費	予算現額	4,042,000円	決算額	3,770,280円	執行率	93.3%
事業実績	<p>○令和4年度実績</p> <p>(1) 東京都パートナーシップ宣誓制度の活用 令和4年11月に運用開始となった東京都パートナーシップ宣誓制度等により交付された受理証明書を、区営住宅・区民住宅への入居申込み、保健福祉オンブズパーソンへの申立てなど区の事業でも活用していくための指針を定めました。</p> <p>(2) 「ちよだをつなげる女性30人」の実施 令和3年度に引き続きフューチャーセッション※の手法を用いて、地域課題の発掘から解決策につながるアイデアを創出するため、区内在住・在勤女性35人によるワークショップ（計5回）を開催しました。日頃感じている困りごと等について共通の課題認識を持つメンバー同士でチームを立ち上げ、世代や背景を超えて相互に刺激を受けながら、活発な意見交換を行いました。企画発表では、各チームがアイデアあふれるポジティブなプレゼンテーションを行いました。</p> <p>他者と触れ合うワークショップへの参加をきっかけに、性別に関わらず、アクションは誰でも、いつでも起こせるという意識を広めることができました。</p> <p>※参加者同士が対話を通じて、未来へ向けての「新たな関係性」と「新たなアイデア」を生み出し、協力して行動できる状況を生み出すための場。</p>					
	実績を踏まえた評価・課題 令和5年度取組状況への対応	<p>区は第6次ジェンダー平等推進行動計画に基づき、性別による不平等がなく、だれもが自分で生き方を選ぶことができ、その選択が認められて参画できる社会をめざしています。令和4年度は区の事業においても、東京都パートナーシップ宣誓制度等の活用を開始しましたが、利用可能な事業を増やしていくことが課題となっています。</p> <p>令和5年度は、「LGBTQを知るハンドブック」を作成し、性の多様性への理解を深めるための普及啓発を行います。</p> <p>令和6年度は、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律に基づき、ジェンダー平等に資するソフト面の施策だけでなく、ハード面での施策を検討します。</p>				
<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿 《基本構想の実現に向けて》</p>						
所管課	地域振興部	国際平和・男女平等人権課	決算参考書	206頁	R4予算の概要	91頁

51 DV対策の推進【拡充】

事業概要	内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴い、家族と過ごす時間が増えたことなどから、家庭内での暴力の増加と深刻化が懸念されています。</p> <p>令和4年度は、国際平和・男女平等人権課、保健福祉部生活支援課や児童・家庭支援センターが個々に実施している相談・支援事業を配偶者暴力相談支援センター機能として位置づけ、DV被害に関する総合的支援体制を構築することにより、相談者の状況に応じた切れ目ない支援を提供し、暴力や虐待のない千代田区をめざします。</p>				
	事業開始年度	平成10年度				
事業費	予算現額	28,482,000円	決算額	27,971,253円	執行率	98.2%
	事業実績	<p>○令和4年度実績</p> <p>(1) 配偶者暴力相談支援センターの機能設置 国際平和・男女平等人権課、生活支援課、児童・家庭支援センターが従前から担っている業務を配偶者暴力相談センター機能に位置付け、連携を強化することで、それぞれの特性を生かした支援を展開しました。</p> <p>(2) ちよだDV相談ダイヤル 相談件数 101件 相談員と直接話せるホットラインを開設し、適切な支援を提供できる専門機関への情報連携や同行、緊急時に必要となる情報提供を行いました。</p> <p>(3) MIW相談室におけるDVに関する相談 相談件数 188件（実人数45名） 様々な悩み相談を受けている相談室では、DV被害で混乱している相談者の気持ちの整理や必要な情報提供など、問題解決に向けて踏み出すためのエンパワーメントを行いました。</p> <p>(4) 配偶者からの暴力の被害に関する相談証明書の発行 7件</p>				
令和6年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題 令和5年度の取組状況	<p>配偶者からの暴力被害者支援には画一的な手法はなく、一人ひとりの気持ちや背景を丁寧に確認しながら、必要な支援を個別に組み立てていく必要があります。</p> <p>令和4年度は、相談員とすぐに話せる「ちよだDV相談ダイヤル」を医療機関窓口等にも周知したことで、新たな被害者やその状況等を迅速に把握することができました。</p> <p>令和5年度は、相談窓口や支援機関が少ない男性被害者支援に関する情報を集めるなど、様々な被害者への支援に取り組んでいきます。また、暴力被害に関する相談があったという証明書を、国際平和・男女平等人権課及び生活支援課において引き続き発行します。</p> <p>令和6年度は、民間相談機関から紹介されてくる相談者のつなぎ役として迅速かつ適切な支援を提供するため、庁内関連各課との連携を一層強化します。</p>					
	<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿 《基本構想の実現に向けて》</p>					
所管課	地域振興部 国際平和・男女平等人権課	決算参考書	206頁	R4予算の概要	93頁	

52 喫煙所設置対策【拡充】

事業概要	内容	<p>昼間区民の多い千代田区では、公衆喫煙所からの臭いや煙の漏れ、私有地での喫煙が課題となっています。</p> <p>令和4年度は、全公衆喫煙所周辺の環境測定（臭いや粉じん等）を行い、高性能脱臭機等の整備が必要と判断された喫煙所に対しては、その経費を助成（補助率：10/10、補助限度額：200万円）することにより、喫煙所の周辺環境の向上を図ります。</p> <p>また、「ちよだみらいプロジェクトー千代田区第三次基本計画2015ー」に掲げた「めざすべき10年後の姿」である喫煙所設置数100か所を2か年前倒しで実現できるよう、取組みを強化します。</p> <p>さらに、苦情が寄せられている箇所については、区において土地を借り上げて喫煙トレーラーの配備を行うことなどにより、喫煙者と非喫煙者が共生でき、より一層安全で快適に暮らせるまちの実現をめざします。</p>				
	事業開始年度	平成21年度				
事業費	予算現額	572,023,000円	決算額	452,335,474円	執行率	79.1%
	事業実績	<p>○令和4年度実績</p> <p>(1) 公衆喫煙所設置経費等の助成</p> <p>①設置経費助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規設置経費助成件数 13件 ・更新経費助成件数 1件 ・差額経費助成件数 4件 <p>②維持管理経費助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理経費助成件数 81件 ・地域共生経費助成件数 6件 <p>(令和4年度末時点の公衆喫煙所数 78か所)</p> <p>(2) 公衆喫煙所の空気環境測定の実施</p> <p>令和4年11月末現在開所している公衆喫煙所74か所を対象に空気環境測定を実施しました。うち、測定結果及び区民等から寄せられた苦情を基に18か所を対象に、区・設置者・環境測定実施者の三者面談を行い、喫煙所の運営方法の改善指導を実施しました。</p> <p>さらに、地域共生経費助成金（上限200万円）を活用した環境改善に必要な設備整備を促しました。</p> <p>(3) 喫煙トレーラーの管理</p> <p>ちよだプラットフォームスクウェア敷地内の喫煙トレーラーを管理しており、1日約800人の利用がありました。</p>				
令和6年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題	<p>新規設置により公衆喫煙所の数は増加していますが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、来街者や外国人観光客が増加傾向にあるため、喫煙所設置の取組みをさらに強化していく必要があります。また、私有地での喫煙については、近隣の公衆喫煙所への案内強化とともに、事業所への啓発活動等、関係部署と情報共有しながら連携して取り組むことが重要です。</p> <p>令和5年度は、公衆喫煙所設置実績がある事業者等に働きかけを行い、新規設置を促進します。また、令和4年12月以降に開所した公衆喫煙所を対象に環境測定を実施するとともに、課題のある喫煙所に改善指導等を行い、周辺環境に配慮した設備整備を促進します。</p> <p>令和6年度は、令和5年度に新規設置した喫煙所を対象に空気環境測定を実施し、喫煙所のさらなる質の向上を図ります。</p>				
	関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿	<p>《人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。》</p>				
所管課	地域振興部 安全生活課	決算参考書	206頁	R4予算の概要	81頁	

53 客引き行為等の防止対策【拡充】

事業概要	内容	<p>近年、風営法に抵触するような営業形態の店舗の増加や過激な衣装を着用した客引きの増加など、生活環境の悪化が懸念されています。</p> <p>令和4年度は、重点地区である外神田地区において、民間警備員によるパトロール回数を週3回から週5回に拡充するとともに、地区外の客引き行為等が行われている箇所にもパトロール範囲を拡大します。</p> <p>また、区が独自に定めている客引き防止条例について、悪質な客引き行為等に対する過料規定を導入するなど、あらゆる視点で、より安全で快適なまちの実現に取り組んでいきます。</p>				
	事業開始年度	平成26年度				
事業費	予算現額	95,972,000円	決算額	81,418,123円	執行率	84.8%
	事業実績	<p>○令和4年度実績</p> <p>(1) 客引き行為等防止重点地区のうち、「秋葉原東部地区」と「外神田地区」を統合し、中央通りと秋葉原駅周辺を加えて、「秋葉原駅周辺地区」として改めて指定しました。</p> <p>民間警備員によるパトロール回数を週3回から週5回に拡充するとともに、パトロール範囲を拡大しました。</p> <p>(2) 地域団体や警察署等と連携して客引き防止パトロール（粹な神田7回、外神田9回、秋葉原イースト11回）を実施しました。</p> <p>(3) 「チームAKIBA安全・安心プロジェクト」が中心となり、メイドカフェ事業者などを対象とした遵法営業に資する研修会を3回実施しました。</p> <p>(4) 秋葉原駅周辺のデジタルサイネージ（7か所）を活用して、動画による来街者への意識啓発を行いました。</p> <p>(5) 水道橋駅周辺地区でもイベント開催日に合わせて民間警備員によるパトロールを17回実施しました。</p>				
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度取組状況 令和6年度予算への対応	<p>新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、来街者や外国人観光客が増加傾向にあるため、環境の変化に対応した対策を行う必要があります。</p> <p>令和5年度は、委託警備員や生活環境改善指導員がパトロールを行い、指導取締を継続実施しているほか、「チームAKIBA安全・安心プロジェクト」が中心となり、事業者の意識改革を図る様々な取組みを展開しています。</p> <p>令和6年度は、地域団体や警察署等と連携しながら、あらゆる視点に立った環境改善に資する施策を継続的に実施することで、安全・安心なまちづくりを推進します。</p>					
	<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿 ≪人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。≫</p>					
所管課 地域振興部 安全生活課		決算参考書	206頁	R4予算の概要	81頁	

54 商工融資事業【拡充】

事業概要	内容	<p>区内中小企業の振興を図るため、中小企業者の事業経営を資金面から支援することを目的に商工融資あっせん制度を設けています。区が利子の一部を補給するため、事業者は低利で融資を利用でき、代表者が区民の場合は信用保証料の補助も受けることができます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期にわたり、引き続き中小企業者の経営環境が懸念される中で、感染状況の鎮静化を見据え、新たな資金需要の発生が想定されます。</p> <p>令和4年度は、中小企業者の新たな事業展開等のため、特別資金を設け資金面からの支援を行い、区内中小企業の振興を図ります。</p>																															
	事業開始年度	昭和28年度																															
事業費	予算現額		決算額	執行率																													
	(1) 利子補給金	138,940,000円	99,528,573円	71.6%																													
	(2) 信用保証料	40,210,000円	12,599,855円	31.3%																													
事業実績	○令和4年度実績 事業応援特別資金等の融資実績																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資金名</th> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">事業応援特別資金</td> <td>あっせん</td> <td>33件</td> <td>199,700,000円</td> </tr> <tr> <td>貸付</td> <td>24件</td> <td>138,700,000円</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td>73件</td> <td>1,118,106円</td> </tr> <tr> <td>信用保証料補助</td> <td>20件</td> <td>2,269,524円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経営継続借換資金</td> <td>あっせん</td> <td>1件</td> <td>10,000,000円</td> </tr> <tr> <td>貸付</td> <td>1件</td> <td>6,000,000円</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td>2件</td> <td>18,993円</td> </tr> <tr> <td>信用保証料補助</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※信用保証料は、補助の対象となる、代表者が区民である事業者の融資利用が想定より少なかったため、執行率が低くなりました。</p>				資金名	区分	件数	金額	事業応援特別資金	あっせん	33件	199,700,000円	貸付	24件	138,700,000円	利子補給	73件	1,118,106円	信用保証料補助	20件	2,269,524円	経営継続借換資金	あっせん	1件	10,000,000円	貸付	1件	6,000,000円	利子補給	2件	18,993円	信用保証料補助	
資金名	区分	件数	金額																														
事業応援特別資金	あっせん	33件	199,700,000円																														
	貸付	24件	138,700,000円																														
	利子補給	73件	1,118,106円																														
	信用保証料補助	20件	2,269,524円																														
経営継続借換資金	あっせん	1件	10,000,000円																														
	貸付	1件	6,000,000円																														
	利子補給	2件	18,993円																														
	信用保証料補助																																
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応 令和6年度予算への対応	<p>新型コロナウイルス感染拡大の長期化への対応として、「事業応援特別資金」と「経営継続借換資金」を新設しましたが、令和4年度の貸付実績は前年度比47.7%減となり、新型コロナウイルス感染症の影響による資金需要は一定の区切りを迎えたように見受けられます。</p> <p>令和5年度は、物価高騰など経営を脅かす新たな要因に対応するため、小規模事業者を対象に、経営活性化のための必要資金を支援する「経営サプリー資金」と、返済計画の見直しを図れるようにするための「借換一本化資金」を新設します。</p> <p>令和6年度も、社会状況に応じた融資メニューにより、区内中小企業者の経営安定化を支援していきます。</p>																																
	<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿 ≪活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。≫</p>																																
所管課 地域振興部 商工観光課		決算参考書	210頁	R4予算の概要 83頁																													

55 ちよだ新産業振興・イノベーション創出促進事業【新規】

事業概要	内容	<p>千代田区は江戸開府以来、日本の政治・経済・文化の中心地として地域ごとの特色と魅力を形成してきました。</p> <p>令和4年度はこうした区内の特性を活かしながら、千代田区にふさわしい新しい産業の振興とブランド力の向上を図るための調査・検討を行います。</p> <p>また、区内産業活性化への好循環につなげるため、スタートアップと呼ばれる革新的なビジネスに取り組む事業者と区の資源である大学・大企業等との交流による地域内でのイノベーション創出を検討します。</p>				
	事業開始年度	令和4年度				
事業費	予算現額	30,000,000円	決算額	4,981,545円	執行率	16.6%
	事業実績	<p>○令和4年度実績 新産業振興・イノベーション創出促進事業に係る調査の実施</p> <p>(1) 新産業振興 区内地域別の産業構造の現状調査を行い、地域の事業者と接点が多く、掛け合わせにより成長可能性がある新産業候補を抽出するとともに、先進事例を調査しました。</p> <p>地域別に抽出された複数の新産業候補の中から、既に産業集積の萌芽が見られた万世橋・和泉橋地域でのeスポーツ振興の優先度が高いことが明らかになりました。</p> <p>(2) イノベーション創出 区内スタートアップ企業の地域別の立地状況と先進事例を調査しました。</p> <p>区内スタートアップ企業の立地数の多さに対し、企業同士や地域とのつながりが少ないという結果を踏まえて、施策検討のための情報整理を行いました。</p> <p>※調査の中間報告において新産業候補を抽出したものの、新産業候補関係者の意見聴取を踏まえた絞込みまで至らず、関連イベントを実施しなかったことにより、執行率が低くなりました。</p>				
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度取組状況 令和6年度予算への対応	<p>新産業振興・イノベーション創出についてはエコシステム（関連する事業者や区内のステークホルダー同士のコミュニティ）の形成を核とした中期的な取組みを行い、継続的に地域や参加者の拡大を促進していく必要があります。</p> <p>令和5年度は、調査結果と新産業候補関係者の声を起点に、eスポーツ認知度向上のための新産業振興イベント実施支援事業、スタートアップ企業同士や地域との結びつきを強める産業コミュニティ形成支援事業、スタートアップ企業と区の協働により地域課題の解決に取り組む地域課題解決支援事業を新たに実施し、区内産業の活性化を図ります。</p> <p>令和6年度は、令和5年度の事業実施状況、結果を整理し、区に新産業やイノベーションが根付き、好循環が生まれるよう引き続き事業を推進していきます。</p>					
	<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿 ≪活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。≫</p>					
所管課	地域振興部 商工観光課	決算参考書	212頁	R4予算の概要	83頁	

56 ちよだアートスクエア基本構想の策定【新規】

事業概要	内容	<p>ちよだアートスクエアは、新たな文化芸術の拠点施設として旧練成中学校に整備し、平成22年に開館して以来、国内外から多くの人々が訪れ、文化芸術活動の担い手を育成する活動の推進やアートを発信する文化芸術の拠点として成長してきました。</p> <p>令和4年度は、旧練成中学校を区の文化芸術の拠点として本格活用するにあたって、これまでの成果や課題の振り返り及び施設の老朽化等を踏まえ、めざすべき姿について検討を行い、ちよだアートスクエアの基本構想を策定します。</p>				
	事業開始年度	令和4年度				
事業費	予算現額	4,632,000円	決算額	691,900円	執行率	14.9%
	事業実績	<p>○令和4年度実績</p> <p>旧練成中学校をちよだアートスクエアの拠点施設として活用するため、千代田区文化芸術プラン推進委員会での検討を重ね、今後の運営方法や整備内容、取組みなどの方向性を示した「新ちよだアートスクエア基本構想」を策定しました。</p> <p>(1) 千代田区文化芸術プラン推進委員会の開催 令和4年5月から令和5年3月までの期間で開催（5回） ちよだアートスクエアの運営管理を行う団体が実施する事業等に対して地域等の意見を反映させるために設置している「ちよだアートスクエア評議委員会」にも出席を求め、意見を聴取しました。</p> <p>(2) パブリックコメントの実施 令和5年2月5日から24日までの期間で実施（意見者数：13名 意見：28件）</p> <p>※基本構想策定支援に係る業務委託を実施せずに基本構想を策定したため、執行率が低くなりました。</p>				
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応	<p>千代田区文化芸術プラン推進委員会やパブリックコメント等の意見を踏まえて、「新ちよだアートスクエア基本構想」を策定しました。ちよだアートスクエアは、今後も民設民営で運営を行っていきませんが、施設の老朽化に伴う改修工事を行い、令和9年度（予定）にリニューアルオープンできるよう整備を進めていく必要があります。</p> <p>令和5年度は、運営事業者の自主性・自律性を損なわないよう配慮しながらも、事業内容や労働状況、経営状況を区が把握できる方法を盛り込んだ募集要項を作成したうえで、次期事業者の選定を行うとともに、改修に係る現状調査と設計を進めます。</p> <p>令和6年度は、次年度からの改修工事に向けて、引き続き施設の設計を進めながら、選定した次期事業者と連携し、文化振興事業を実施していきます。</p>					
	<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿 ≪伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。≫</p>					
所管課	地域振興部	文化振興課	決算参考書	218頁	R4予算の概要	87頁

57 新スポーツセンター基本構想の策定

事業概要	内容	<p>区は、老朽化した現在のスポーツセンターについて、多様化する利用ニーズや、社会環境の変化に対応した、誰もが楽しくスポーツに親しめる多目的な機能を備えた新スポーツセンターとして整備するための検討を進めています。</p> <p>令和4年度は、現在地での建替えを前提として、引き続き規模や導入機能・設備などについて検討を行い、新スポーツセンターの基本構想を策定します。</p>		
	事業開始年度	平成28年度		
事業費	予算現額	6,600,000円	決算額	76.8%
			5,071,000円	
事業実績	<p>○令和4年度実績</p> <p>(1) 現状と課題の調査・分析 現スポーツセンターの個人利用者、団体利用者を対象にアンケートを実施しました。主競技場やプールにおける公式競技基準を満たす設備対応をはじめとし、施設のバリアフリー化や老朽化への対応等、施設のさらなる充実について様々な意見がありました。</p> <p>(2) 施設整備に係る基本的な考え方（コンセプト）の検討 運動・スポーツ活動の果たす役割は、体力向上や健康増進に留まらず、地域コミュニティの醸成など様々な観点から注目され、ニーズが多様化しています。このような現状を踏まえ、新スポーツセンターの施設整備に係る基本的な考え方（コンセプト）を検討しました。</p> <p>(3) 施設機能の検討 スポーツを実施する競技場施設に留まらず、多くの人が気軽に集まる施設となるよう、集会施設や交流施設等についても検討しました。</p> <p>(4) その他 新スポーツセンター基本構想については、川沿いの立地を活かした検討を進める必要があるため、令和5年度も策定業務を継続することとしました。</p>			
	<p>新スポーツセンターにおいては、機能や設備の検討に加えて、「水辺を魅力ある都市空間に再生する条例」等に基づき、良好な水辺空間の創出に向け、川沿いの立地を活かした整備についても検討していく必要があります。</p> <p>令和5年度は、施設整備の基本的な考え方を踏まえ、引き続き課題の調査・分析を行い、新スポーツセンターの基本構想の策定を進めます。</p> <p>令和6年度は、基本構想を基に、事業方式の検討などを行います。</p>			
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度取組状況 令和6年度予算への対応	<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿 ≪生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。≫</p>			
所管課	地域振興部 生涯学習・スポーツ課 (スポーツ推進担当課長)	決算参考書	220頁	R4予算の概要 85頁

58 障害者スポーツ・eスポーツ体験【拡充】

事業概要	内容	<p>近年、これまでのスポーツの枠にとらわれないeスポーツ※が、新たなスポーツとして注目を浴びています。eスポーツは、年齢や障害の有無に関わらず楽しめるという多様性を持つことから、健康づくりへの寄与など様々な広がりを見せています。</p> <p>令和4年度は、従前から実施している障害者スポーツ体験のイベントにeスポーツの種目を追加し、スポーツの普及啓発に取り組みます。</p> <p>※eスポーツ（エレクトロニック・スポーツ）：電子機器を用いて行う娯楽、スポーツ全般</p>				
	事業開始年度	平成30年度				
事業費	予算現額	7,348,000円	決算額	3,828,000円	執行率	52.1%
事業実績	<p>○令和4年度実績</p> <p>(1) 普及啓発イベント「Let's play! パラスポーツ・eスポーツちよだ2022」の実施</p> <p>令和4年度からeスポーツを取り入れましたが、下肢に障害がある方でも楽しむことができ、参加者から好評でした。</p> <p>①日 時 令和4年12月4日</p> <p>②場 所 スポーツセンター</p> <p>③参加者 8名</p> <p>④種 目 車いすバスケ、ボッチャ、サウンドテーブルテニス、eスポーツ</p> <p>※小学校とスポーツセンターの2か所で開催を予定していましたが、スポーツセンターのみでの開催となったことにより、執行率が低くなりました。</p>					
	 <p>▲サウンドテーブルテニスの様子</p>		 <p>▲eスポーツの様子</p>			
令和6年度予算への対応	<p>実績を踏まえた評価・課題</p> <p>12月の障害者週間に、障害者スポーツへの関心向上及び障害者への理解促進を図るとともに、令和4年度はeスポーツの普及啓発も図るために体験イベントを実施しました。eスポーツについては初めての試みでしたが、障害のある方でも楽しむことができるスポーツとして認識していただくことができました。しかし、近年は事業規模の縮小により、体験イベントの参加者数が減少しています。</p> <p>令和5年度は、本事業の周知を幅広く行うとともに、区民のスポーツへの理解促進に取り組む千代田区スポーツ推進委員協議会とも連携することにより、誰もが参加したくなるような魅力あるイベントの企画・実施をめざします。</p> <p>令和6年度は、令和5年度に引き続き、障害者スポーツ・eスポーツの体験イベントを実施します。</p>					
	<p>関連する主な第4次基本構想のめざすべき姿</p> <p>「生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。」</p>					
所管課	地域振興部	生涯学習・スポーツ課	決算参考書	220頁	R4予算の概要	85頁